

「魅力ある大学院教育」イニシアティブに 関するアンケート調査

奈良女子大学大学院では、文部科学省によって推進されている「魅力ある大学院教育」イニシアティブとして選定された教育プログラムを平成 17 年度から実施しております。このたびは、現在までに行われた様々な教育・研究企画について、当該 4 専攻の大学院生の率直な感想や意見をお尋ねするために、アンケート調査を行うこととしました。

このアンケートは、今後の教育プログラムのあり方を検討する資料としてのみ用い、他の目的で使用することはありませんので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることはありません。皆様には、アンケートの趣旨をご理解いただき、何とぞご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この調査票に回答をご記入されましたら、学務課大学院係（F棟2階）に設置された回収ボックスに7月31日（月）までにお返しくくださるようお願い申し上げます。

平成 18 年 7 月

奈良女子大学大学院人間文化研究科
教育プログラム推進委員会

連絡先：大学院教育推進支援室
TEL/FAX 0742-20-3253

問 1 あなたが所属する専攻と学年について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

(1) 専攻

- | |
|----------------------|
| 1. 国際社会文化学専攻（博士前期課程） |
| 2. 人間行動科学専攻（博士前期課程） |
| 3. 人間環境学専攻（博士前期課程） |
| 4. 社会生活環境学専攻（博士後期課程） |

(2) 学年

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 博士前期 1 回生 | 3. 博士後期 1 回生 |
| 2. 博士前期 2 回生（2 回生以上も含む） | 4. 博士後期 2 回生 |
| | 5. 博士後期 3 回生（3 回生以上も含む） |

問2 あなたの研究についてお尋ねします。

(1) 現在行っている研究はどのようなものですか。以下に示すそれぞれの特性について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 理論的研究
2. 調査・インタビュー・実験を用いる研究
3. 二次資料・史料の収集や整理を伴う研究
4. 生活環境の課題の発見に関する研究
5. 生活環境の課題の解決を目指す研究
6. 生活の場における実践（生活環境など）に応用する研究
7. 社会における実践（政策など）に応用する研究
8. <u>どれにもあてはまらない</u> |
|---|

↓
 どのような研究かを具体的に _____

(2) 現時点における研究の状況は、以下に示す【A】・【B】どちらに近いと感じますか。
それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	【A】 ↓	【A】 にあてはまる	やや 【A】 に近い	やや 【B】 に近い	【B】 にあてはまる	【B】 ↓
研究テーマ・内容が明確である		1	2	3	4	研究テーマ・内容は、まだ明確には決まっていない
研究の独自性（オリジナリティ）を意識しながら、研究を行っている		1	2	3	4	独自性（オリジナリティ）は意識せずに、研究を行っている
研究の計画が具体的に定まっている		1	2	3	4	研究の計画は、まだ具体的には定まっていない
研究を行うときには、自分自身の判断によってすすめている		1	2	3	4	研究を行うときには、教員や先輩研究者の指示に頼っている
他者（学内の教員・先輩研究者）に意見をもらう機会を、自分で作る		1	2	3	4	意見をもらう機会是他者が設定してくれる
学外の研究者と積極的に交流している		1	2	3	4	学外の研究者との交流は少ない

問3 今年度に大学院で開講されている授業についてお尋ねします。

※人間環境学・国際社会文化学・人間行動科学・社会生活環境学の4専攻で2006年度の前期に開講している授業は、「専門基礎群」「専門応用群」「研究マネジメント群」「キャリア形成群」に分かれています。各群に対応する科目名は【添付資料】を参照してください。また、4専攻以外の授業はのぞいてお考えください。

- (1) 「専門基礎群」に含まれる科目のうち、今年度前期にあなたはいくつ履修しましたか。履修した科目の数をご記入ください。

科目

- (2) その中で、今後あなたが研究をすすめるにあたって、大いに役立つと思う科目がありましたか。

1. ある 2. ない

- (3) 今後あなたが研究をすすめるにあたって、役立たないと思う科目がありましたか。

1. ある 2. ない

- (4) 今後あなたが研究をすすめるにあたって、「専門基礎群」の科目がどのような点で役立つか、または役立たないか（不足している点など）について、具体的にご記入ください。

- (5) 「**専門応用群**」に含まれる科目のうち、今年度前期にあなたはいくつ履修しましたか。履修した科目の数をご記入ください。

科目

- (6) その中で、今後あなたが研究をすすめるにあたって、大いに役立つと思う科目がありましたか。

1. ある 2. ない

- (7) 今後あなたが研究をすすめるにあたって、役立たないと思う科目がありましたか。

1. ある 2. ない

- (8) 今後あなたが研究をすすめるにあたって、「**専門応用群**」の科目がどのような点で役立つか、または役立たないか（不足している点など）について、具体的にご記入ください。

- (9) 開講している「**専門基礎群**」「**専門応用群**」の科目につきまして、その他のご要望やご意見がありましたら、自由にご記入ください。（科目の構成、科目の内容など）

問4 今年度から「研究マネジメント群」「キャリア形成群」として開講されている科目についてお尋ねします。(※各群に対応する科目名は別紙を参照してください)

(1) 以下に示すそれぞれの科目は、今後あなたが研究をすすめるにあたって、どの程度役に立つと思われますか。

※その科目を履修していない場合は、右端の「5」に○をつけてください

	大いに役立つ	少しは役立つ	あまり役立たない	ほとんど役立たない	履修しなかった
(a) 学術基礎英語	1	2	3	4	5
(b) 学術プレゼンテーション演習	1	2	3	4	5
(c) 女性研究者キャリア論	1	2	3	4	5
(d) インターンシップ実習	1	2	3	4	5

(2) 今後あなたが研究をすすめるにあたって、これら(a)～(d)の科目がどのような点で役立つか、または役立たないか(不足している点など)について、具体的にご記入ください。

※これらの科目をひとつも履修していない場合は、次の(3)に進んでください

(3) 博士後期課程で開講されている「学術交流英語」「研究プロジェクト演習」「研究プロポーザル演習」についてうかがいます。これらの科目が、今後あなたが研究をすすめるにあたって、どのような点で役立つか、または役立たないか(不足している点など)を、具体的にご記入ください。

※これらの科目をひとつも履修していない場合は、次の(4)に進んでください

- (4) 「研究マネジメント群」「キャリア形成群」の科目につきまして、その他、ご要望やご意見がありましたら、自由にご記入ください。(時間数、科目の種類など)

問5 「魅力ある大学院教育イニシアティブ」事業の一環として、昨年度後期(2005年12月)から行われた研究支援企画についてお尋ねします。

- (1) 院生自主企画による研究セミナーとして、以下の4つが開催されました。
- ・「環境政策と環境評価」(2005年12月27日 講師：京都大学浅野耕太氏)
 - ・「未来の子供の姿 ―メディア社会の変容の中で―」(2006年2月19日 シンポジスト：本学大学院生足立絵美氏ほか)
 - ・「日本・アメリカ・スウェーデン・オランダの家族生活 ―生活経験者に学ぶ家族文化比較―」(2006年2月23日 講師：SAJ代表吉本真紀氏)
 - ・「現代社会への視点」(2006年2月27日 講師：立教大学奥村隆氏)

これらのセミナーのいずれかに参加しましたか。参加した場合、それは今後あなたが研究をすすめるにあたって、どの程度役に立つと思われますか。

1. 参加した	2. どれにも参加しなかった
---------	----------------

↓

1. 大いに役立つ	2. 少しは役立つ
3. あまり役立たない	4. ほとんど役立たない

